

岐阜工業高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)	授業科目	特別実験 (後期)
科目基礎情報					
科目番号	0014		科目区分	専門 / 必修	
授業形態	実験		単位の種別と単位数	学修単位: 2	
開設学科	先端融合開発専攻		対象学年	専1	
開設期	後期		週時間数	2	
教科書/教材	配布資料				
担当教員	中谷 淳,羽瀧 仁恵,山田 博文,和田 清,鈴木 正人,川端 光昭,菊 雅美,下村 波基,鶴田 佳子,青木 哲				
到達目標					
<p>A: 機械工学系、電気電子工学系、情報工学系</p> <p>①流体力学を基礎として、その応用例である風洞装置を活用した空気力学に関する実験</p> <p>②信号処理、画像処理工学を基礎として、Digital 画像処理に関する実験</p> <p>③電子工学、電気電子設計製図に関連した実験</p> <p>B: 水圏実験、都市交通計画、地球環境</p> <p>C: 構造実験、建築環境</p> <p>D: 建築設計</p> <p>①課題を理解し自発的に問題を解決する能力を身に付けること</p> <p>②基礎知識を活用し、着実に計画を解析・実行し、得られた成果をまとめる能力を身につけること</p> <p>③専門共通分野（創生、計測・制御、安全等）の知識と能力を身につけること</p> <p>④専門分野の知識と能力を身につけること</p> <p>⑤情報技術を使いこなし、プログラム等を構築する能力を身につけること</p>					
ルーブリック					
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安		
流体力学を基礎として、その応用例である風洞装置を活用した空気力学に関する実験	8割以上に付けていること	6割以上に付けていること	6割未満しか身に付けていない		
信号処理、画像処理工学を基礎として、Digital 画像処理に関する実験	8割以上に付けていること	6割以上に付けていること	6割未満しか身に付けていない		
電子工学、電気電子設計製図に関連した実験	8割以上に付けていること	6割以上に付けていること	6割未満しか身に付けていない		
課題を理解し自発的に問題を解決する能力を身に付けること	8割以上に付けていること	6割以上に付けていること	6割未満しか身に付けていない		
基礎知識を活用し、着実に計画を解析・実行し、得られた成果をまとめる能力を身につけること	8割以上に付けていること	6割以上に付けていること	6割未満しか身に付けていない		
専門共通分野（創生、計測・制御、安全等）の知識と能力を身につけること	8割以上に付けていること	6割以上に付けていること	6割未満しか身に付けていない		
専門分野の知識と能力を身につけること	8割以上に付けていること	6割以上に付けていること	6割未満しか身に付けていない		
情報技術を使いこなし、プログラム等を構築する能力を身につけること	8割以上に付けていること	6割以上に付けていること	6割未満しか身に付けていない		
学科の到達目標項目との関係					
教育方法等					
概要	本科における卒業研究およびその周辺の基礎知識をもとに、さらに高いレベルの実験・実習・設計を行い、専門知識を精緻なものとし、広い視野から理論的かつ体系的に問題を考える能力と独創性を育成する。				
授業の進め方・方法	A~D何れかのテーマを選択し、協力して課題を解決する。				
注意点	報告書の提出期限、提出場所は担当教員の指示に従うこと。また、報告書の提出期限は厳守すること。				
授業計画					
	週	授業内容	週ごとの到達目標		
後期	3rdQ	1週	A: 機械工学系実験、B: 水圏実験、C: 構造実験、D: 建築設計	左記内容について理解する	
		2週	A: 機械工学系実験、B: 水圏実験、C: 構造実験、D: 建築設計	左記内容について理解する	
		3週	A: 機械工学系実験、B: 水圏実験、C: 構造実験、D: 建築設計	左記内容について理解する	
		4週	A: 機械工学系実験、B: 水圏実験、C: 構造実験、D: 建築設計	左記内容について理解する	
		5週	A: 機械工学系実験、B: 水圏実験、C: 構造実験、D: 建築設計	左記内容について理解する	
		6週	A: 機械工学系実験、B: 都市交通計画、C: 構造実験、D: 建築設計	左記内容について理解する	
		7週	A: 情報工学系実験、B: 都市交通計画、C: 構造実験、D: 建築設計	左記内容について理解する	
		8週	A: 情報工学系実験、B: 都市交通計画、C: 建築環境、D: 建築設計	左記内容について理解する	
	4thQ	9週	A: 情報工学系実験、B: 都市交通計画、C: 建築環境、D: 建築設計	左記内容について理解する	
		10週	A: 情報工学系実験、B: 都市交通計画、C: 建築環境、D: 建築設計	左記内容について理解する	
		11週	A: 電気電子工学系実験、B: 地球環境、C: 建築環境、D: 建築設計	左記内容について理解する	

		12週	A：電気電子工学系実験、B：地球環境、C：建築環境、D：建築設計	左記内容について理解する
		13週	A：電気電子工学系実験、B：地球環境、C：建築環境、D：建築設計	左記内容について理解する
		14週	A：電気電子工学系実験、B：地球環境、C：建築環境、D：建築設計	左記内容について理解する
		15週	A：電気電子工学系実験、B：地球環境、C：建築環境、D：建築設計	左記内容について理解する
		16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
----	----	------	-----------	-------	-----

評価割合

	報告書	合計
総合評価割合	100	100
基礎的能力	30	30
専門的能力	40	40
分野横断的能力	30	30